

研究講習事業報告

学発番 学19-003

事業名： 臨床化学免疫血清研修会

日時： 平成31年4月23日（火）18：30～20:00

場所： 京都保健衛生専門学校 視聴覚教室

主 題1： 「IgG4関連疾患と血清IgG4の測定意義  
-免疫グロブリンの基礎から応用まで-

講 師1： 松木 友里 氏 （ニッポーボーメディカル株式会社 学術部）

参加数： 総数：13名（京臨技会員：13名）

報告者： 岡崎 一幸(京都大学医学部附属病院検査部)

以下、講演内容など

今回は、免疫グロブリンとその基礎、および最近話題のIgG4関連疾患について講演をしていただきました。前半は、自然免疫と獲得免疫の違いや分類、免疫グロブリンのクラス別の特徴や基本構造について学びました。また、日常の検査における測定法として免疫比濁法(TIA)とラテックス免疫比濁法(LA)の特徴や免疫電気泳動を紹介して頂きました。後半は、最近話題のIgG4関連疾患と血清IgG4について、血清学的所見、診断、治療と幅広く講義していただきました。免疫測定法の基礎から見直しが出来た有意義な研修会となりました。